

「情報公開文書」

受付番号： 2017-3-13

課題名：顎変形症での術前矯正治療期間が及ぼす術後機能への影響に関する臨床研究

1. 研究の対象

2017年12月～2022年11月に当院で顎変形症の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

顎変形症に対する治療法は、顎矯正手術の前に歯の decompensation を目的とした術前矯正治療を行うことが一般的とされてきているが、術前矯正治療にかかる期間は1年から2年を要するものである。さらに decompensation により咬合と顔貌の悪化が指摘されており、患者への精神的、身体的負担を要するものである。近年、術前矯正治療を行わない Surgery First 法(以下 SF 法)が報告されるようになり、治療期間の短期化が利点として挙げられており、SF 法は世界的に普及してきている。SF 法は術前矯正治療を行わないことから、従来法と比較して、術直後の咬合関係は悪化することが指摘されている。本研究は2014年4月から2017年8月までの期間で SF 法の術直後の咬合関係が顎関節機能や機能回復に関してどのような影響を与えるかについて調査することを目的とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、診査結果（顎運動、開口量、顎関節疼痛、雑音、咀嚼筋痛）、合併症等の発生状況、カルテ番号 等

4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

5. 研究組織

該当なし

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究事務局(東北大学歯学研究科 顎顔面・口腔外科学分野) 担当：鈴木飛佳理

Tel 022-717-8350 Fax 022-717-8359

研究責任者：

東北大学大学院歯学系研究科顎顔面・口腔外科学分野 山内 健介

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合